授業科目名	組織変革論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	齊藤 弘通	EJ52	3・4	2

科目の概要

組織内外の様々な環境要因に適応するため、組織を望ましい状態に変化させていくプロセスを「組織変革」と言う。組織変革の対象となるものは、「戦略」「技術」「組織構造」「職務」「人」と多岐にわたり、組織変革の実行においては、戦略や構造、制度など、組織のハード面の変革にとどまらず、組織メンバーの意識や価値観、行動規範など、組織のソフト面の変革にも着手することが求められる。本科目では、こうした組織のソフト面の変革の重要性を踏まえ、組織変革を推進するチェンジ・エージェントの育成と活用を中心に、組織変革の実効性を高めるための具体的な考え方と方法論を学ぶ。

科目の到達目標

- ① 組織変革の必要性、組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）の設計・運用上のポイント、変革プログラムの推進体制、組織変革を推進するチェンジ・エージェントの役割や活動イメージ、変革の内容を現場に浸透・定着させる上での方法や留意点について説明できる。
- ② 学習した事柄を、自身の仕事上の課題や自組織の課題解決に応用することができる。

テキスト	『組織変革実践ガイド』齊藤 弘通 他, 産業能率大学出版部, 2005年
------	--------------------------------------

テキストの読み方

- ① 第1章、第2章は組織変革の必要性や組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）の推進体制について述べられている。第3章以降の前提となる章となっているため、内容をよく理解して欲しい。
- ② 第3章、第4章、第5章は、組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）を進めていくための具体的な方法について詳述されている。変革プログラムを推進する個々の関係者の役割や動きに着目しながら読んでいただきたい。
- ③ 第3章、第4章では、架空の企業を題材とした組織変革のケース（事例）が記載されている。ケースを読むことで、組織変革に向けた取り組みの具体的なイメージをつかむことができるだろう。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。